



公益財団法人 日本スポーツ協会公認
茨城県スポーツ指導者協議会

第92号

会報

発行 令和8年3月15日

I : Ibaraki
S : Sports
C : Coaches
C : Council

発行人 茨城県スポーツ指導者協議会 会長 鈴木孝子
事務局 〒306-0204 古河市下大野 1463-4
TEL・FAX 0280-92-4555 事務局長 鈴木義夫
会員数 2,747名 (R8.2.15現在)



公益財団法人 日本スポーツ協会公認
スポーツ指導者のために

資質向上と活動の推進を

連帯感を深め組織的活動を

組織基盤の再構築と次世代型

ガバナンスへの移行

茨城県スポーツ指導者協議会 理事長 加藤 敏 弘



会員の皆様におかれましては、日頃より本県のスポーツ振興と指導者の資質向上に多大なるご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。会報第92号をお届けするにあたり、令和7年度の歩み振り返り、次年度以降への展望を述べさせていただきます。

令和7年度は、当協議会にとって「組織の近代化」へ大きく舵を切った一年でした。特に注力したのは、デジタル技術の活用による事務効率化です。デジタルワークスペースの導入により、場所を問わない情報共有やオンライン会議が可能となり、AI（ジェミニ）を用いた分析など、次世代の運営スタイルを運営委員に提示することができました。また、事務局に集中していた業務を各委員会へ分散し、「事務手順書」を整備するなど、特定の個人に頼らない持続可能な組織へ向けて一歩を踏み出しています。

しかし、目を転じれば、会費の値下げやスポーツ少年団関係の新規会員増が頭打ちになったことに伴う財

政状況の厳しさは看過できない課題です。今年度の常任理事会では、お弁当代の抑制や会場使用料の精査、交通費内規の改定など、多岐にわたる経費削減策を断行いたしました。これらは単なる縮小均衡ではなく、会員のみならず寄せられた会費を真に必要な活動へ投じるための「攻めの守り」であります。

令和9年度には、公益財団法人日本スポーツ協会による「更新研修のポイント制」が始まります。詳細はHPなどを通じて示されると思いますが、4年に一度の受講では更新することができなくなります。これを受け、本協議会では支部が主体となつて独自の更新研修を開催できる体制の構築に向けて検討を開始いたしました。地域に根ざした支部活動こそが本会の生命線です。令和8年度に設置する支部活性化に向けたワーキンググループを中心に、支部の格差を解消し、誰もが学びやすく、活動しやすい環境を整えてまいります。

時代の変化は激しく、組織運営には時に痛みを伴う改革も必要です。しかし、私たちの使命である「県民

のスポーツライフを支える指導者の育成」という理念は揺るぎません。これまでの伝統を大切にしつつ、デジタルの力と地域の絆を融合させ、より強固な協議会を目指してまいります。

会員の皆様には、今後とも変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。新年度に向けた決意の挨拶とさせていただきます。

（公財）日本スポーツ協会

受賞者紹介

鹿行支部

森 作 秀 裕 さん

（バレーボール）

水戸支部

加藤木 すえ子 さん

（ソフトボール）



令和7年11月22日（土）に開催されました公認スポーツ指導者全国研修会において本協議会会員である、森作秀裕さん、加藤木すえ子さんの二名の方が日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰の栄章を受賞されました。

お二人は、長年地域スポーツの振興に努力されてきました。今後益々のご活躍をご祈念申し上げます。

令和七年度本協議会事業活動報告

茨城県スポーツ指導者協議会

事務局長 鈴木 義夫

令和七年度茨城県スポーツ指導者協議会の事業活動を、ご報告申し上げます。

今年度の本協議会総会は、令和七年4月26日(土)に笠間市・友部公民館3階視聴覚室で開催して、令和6年度本協議会事業報告及び収支決算報告並びに令和七年度事業計画案及び収支予算書案が原案通り全会一致で承認が得られました。

令和七年度本協議会の主なる事業で、研修会(全県研修会・地区研修会)を4会場で開催しました。全県研修会は研修委員会が主管で、令和七年8月3日(日)に水戸市・ザ・ヒロサワ・シティ会館で開催して、参加申込者17名に対し、受講者97名でありました。

中央地区研修会は中央支部が主管で、令和七年9月7日(日)にひたちなか市・勤労者総合福祉センターで開催して、参加申込者98名に対し、受講者88名でありました。

県西地区研修会は県西支部が主管で、令和七年11月9日(日)に下妻市・千代川公民館で開催して参加申

込者107名に対し、受講者105名でありました。

鹿行地区研修会は鹿行支部が主管で、令和八年1月25日(日)に鹿嶋市・大野ふれあいセンターで開催して、参加申込者85名に対し、受講者77名でありました。

本協議会は、会報を毎年2回『3月中旬及び9月中旬』に発行を広報委員会が主管で、原稿依頼、研修会取材、原稿校正等など編集を行い、印刷製本後に各支部から会員皆様へ無料で配付を郵送しており、その他等に各支部が独自の研修会、講演会、救命講習会などを開催し、支部便りを無料で発行しております。

茨城県に登録した公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者は、令和七年10月1日現在に茨城県登録人数は、7,023名であります。スポーツリーダー含む本協議会の各支部別に公認スポーツ指導者の会員数は、令和八年2月15日現在で2,747名であります。

(但し、JBA公認コーチライセンスを含む)

公認スポーツ指導者は、資格取得後及び資格更新後は、3年6カ月以内に1回以上の研修会に受講した実績が必要であります。

本協議会主催する研修会(全県研修会・地区研修会)を開催する案内文書は、有効期限が1年6ヶ月以内の方々宛て今年の6月初旬に公益財団法人茨城県スポーツ協会からハガキで送付がされます。

本協議会は、毎年4月下旬及び10月下旬に公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資格取得及び資格更新された有資格者宛て宛て本協議会に会員入会のご案内文書を郵送いたしますので、会員更新にご理解されて、ご協力くださるようお願い申し上げます。

茨城県スポーツ指導者協議会は公認スポーツ指導者の更新研修が来年度の4月からは、更新研修のポイント制導入により、3年6ヶ月以内に2回以上の研修会を受講が必要に対応するため、研修会の開催地を年間に4会場から7会場に増やして、令和九年度から会員皆様のご都合の良い月に研修会が受講する事が出来るように方策を講じております。

今後とも本協議会の事業運営等にご支援とご協力を宜しくお願い

申し上げます。



令和7年度後期 茨城県スポーツ指導者協議会 地区研修会開催

1. 県西地区研修会

11月9日(日)

下妻市千代川公民館

講演Ⅰ…新井 正道 先生

(一社)日本スポーツコーチング協会

講演内容…未来に役立つスポーツ選手のマインド

セット



講演Ⅱ…河西 浩志 先生

(一社)日本スポーツコーチング協会

講演内容…選手とチームの限界

突破を生み出す指導者のコミュニケーション

セッション



2. 鹿行地区研修会

令和8年1月25日(日)

鹿嶋市大野ふれあいセンター

講演Ⅰ…茂木ゆういち 先生

(一社)日本スポーツコーチング協会

講演内容…成長を促す目標設定



講演Ⅱ…内山 達二 先生

(流通経済大学ラグビー部元監督)

講演内容…良いチームを作ろう



多数の指導者の方々に参加いただき有意義な研修会を開催することが出来ました。令和9年度以降には、更新研修がポイント制導入になる予定です。当協会では、会員の皆様に多くの研修会を受講していただくよう来年度以降も充実した研修会を開催していきたいと思えます。

令和7年度(2025年度) 公認スポーツ指導者研修会 アンケート結果報告

研修委員会

1. 研修会実施概要

本研修会は、茨城県内の公認スポーツ指導者を対象に、指導資質の向上と最新情報の共有を目的に県内4カ所で開催された。

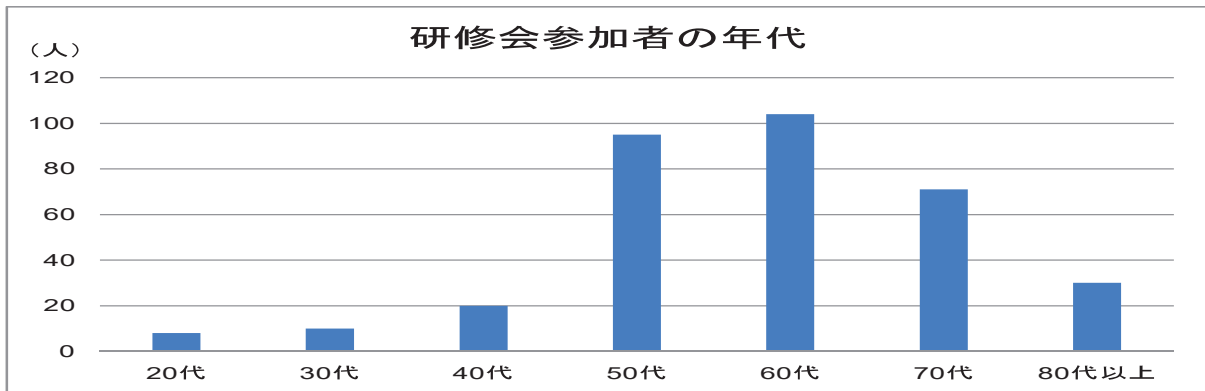
- ・開催地区…全県、中央、鹿行、県西
- ・回答総数…344名(有効回答)
- ・分析方針…地区間での有意差検定(全県地区と中央地区等)を実施したが、顕著な差は認められなかった。そのため、本報告書では4地区全体の集計結果に基づき、共通の指導者ニーズと傾向をまとめる。

2. 参加者属性の分析

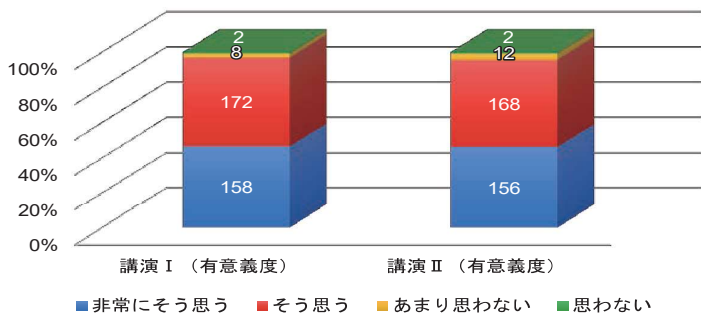
茨城県のスポーツ指導を支える中心層は50〜70代のベテラン層であり、その多くが地域に根ざした活動を行っている。

- ・年代構成…60代(30%)が最多、次いで50代(28%)、70代(21%)と続き、50代以上が全体の約8割を占める。
- ・指導の場…「地域クラブ・少年団」が圧倒的に多く、学校運動部活動がそれに続く。
- ・性別比…男性…76%、女性…24%

研修会参加者の年代



講演は有意義でしたか？



3. 研修内容に対する評価

全体を通じて、講演内容への満足度は極めて高く、地区を問わず質の高い研修を提供できたことが示された。

(1) 講演の有意義度

- 講演 I…有意義（非常にそう思う・そう思う）との回答が 97.1%
- 講演 II…有意義との回答が 95.9%

【分析】

いずれの講演も95%を超える肯定的な評価を得た。特に、具体的なコーチングスキル（GROWモデル等）や、アスリートのキャリア観といった実践的・多角的な視点や、ベテラン指導者の関心を強く惹きつけた。

(2) 推奨意向（他者への推薦）

- 推奨したい（非常に・そう思う）：85.8%

【分析】自身の学びだけでなく、指導者仲間にも勧めたいという高いエンゲージメント※が確認された。

4. 参加者の声（自由記述からの抜粋）

アンケートからは、指導現場での悩みと、本研修を通じた前向きな気づきが数多く寄せられた。

・学びの深化…

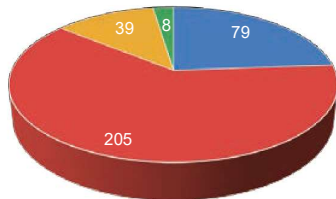
。「答えは相手の中にある」という言葉にハッとしました。問いかけによって子供たちの力を引き出していききたい。」

。「AAR※の質問集がとてもためになった。さっそく明日から選手に『考えるための質問』を投げかけたい。」

・現場の課題と情熱…

。「暑さ対策など厳しい環境だが、子供たちが安全に練習できるような現場の声を一つにしていきたい。」

研修会を仲間に勧めますか？



- 非常にそう思う（強く勧める）
- そう思う（勧める）
- あまり思わない
- 思わない

2. 横のつながりの重要性…「他

競技の指導者と交流できる貴重な機会」との声が多く、研修会がネットワーク形成の場としても機能している。

3. 今後のニーズ…酷暑対策や指

導者不足といった現場の切実な課題に対し、理論だけでなく環境改善や組織運営に関する情報の提供も、次年度以降の重要なテーマになると考えられる。

※エンゲージメント

共に成長したいという関係性

※AAR

After Action Reviewの略
事後検討。ある出来事やプロジェクトから学習すべき教訓を抽出し他の場面に応用するための方法論

5. 総括と次年度への展望

今回の4地区合同研修会は、県内全域において高い満足度を維持しつつ、共通の課題を浮き彫りにした。

1. 指導者層の熱意…50代以上の

ベテラン層が最新の指導理論を意欲的に学んでおり、県内指導者の質の底上げが期待できる。



専門員会事業報告書

〔総務委員会〕



委員長

多田 保徳

令和7年度総務委員会の事業活動をご報告申し上げます。

今年度の総務委員会は、令和7年7月26日(土)笠間市・友部公民館1階創作室に於いて第1回総務委員会を開催致しました。令和7年度役員改選もあり総務委員会も新役員の構成となり新たな気持ちでスタート致しました。総務委員会の事業目的を推進するため、令和6年度の議案事項を考慮し、令和7年度事業を左記事項に取り纏め推進することと致しました。

- (一)令和6年度総務委員会活動の振り返り・確認
 - (二)本協議会規約及び細則等の見直し検討・提案
 - (三)常任理事会からの付託された諸事項等の検討・提案
 - (四)IT化の推進に関する事項
- また、令和8年1月24日(土)笠間市・友部公民館1階創作室にて第2回総務委員会を開催致しました。第1回総務委員会の議案事項を踏まえ、皆様の活発なる意見交換により左記事項を取り纏め、常任理事会に

提案することが出来ました。
◆令和7年10月の常任理事会へ提案事項

- (一)本協議会規約第20条会費について「会費に関する規程(案)」
 - (二)本協議会規約第17条専門委員会7項により、「総務委員会細則(案)」
- ◆令和8年2月の常任理事会へ提案事項
- (一)本協議会規約第17条専門委員会について「専門委員会規程(案)」
 - (二)茨城県スポーツ指導者協議会

〔研修委員会〕



委員長

高野 照代

私達、研修委員会として、令和7年度4回の研修会を実施しました。

- ①8月3日全県研修会、ザ・ヒロサワ・シティ会館にて97名参加。
 - ②9月7日中央地区研修会、ひたちなか市勤労者総合福祉センターにて88名参加。
 - ③11月9日県西地区研修会、下妻市千代川公民館にて105名参加。
 - ④1月25日鹿行地区研修会、鹿嶋市大野ふれあいセンターにて77名参加。
- 4回の研修会に参加された公認スポーツ指導者を対象に、指導資質向上と新情報の共有を目的にアンケートを実施しました。本年度アンケート

の内容についても見直しを図り、参加者属性の分析や研修内容に対する評価、参加者の声、次年度への展望等をまとめ、これからの研修会に生かすことができるようにしました。

研修内容に対する評価は、全体を通じて講演内容の満足度は極めて高く、地区を問わず質の高い研修が提供できたことが示されました。特に具体的なコーチングスキル(GROWモデル等)やアスリートのキャリア観といった、実践的・多角的な視点が多かったです。参加された方多くが、自分自身の学びだけでなく、指導者仲間にも勧めたいという高いエンゲージメントが確認されました。

参加者の声からは、指導現場での悩みと本研修を通じた前向きな気づきが数多く寄せられました。

「学びの深化としては、『答えは相手の中にある』という言葉にハッとしました」「問いかけによって子供たちの力を引き出していきたい」。

現場の課題からは、「暑さ対策など厳しい環境だが子供たちが安全に練習できるような現場の声をひとつにしていきたい」「指導資格を持たないスタッフにも今回学んだ正しい知識を共有する架け橋になりたい」などの声が聞かれました。

4回の研修会を通して、指導者の熱意として50歳代以上のベテラン層が、最新の指導理論を意欲的に学ん

でおり、県内指導の質の底上げが期待できると思います。また、横のつながりの重要性として、「他競技の指導者と交流できる貴重な機会」との声が多く、研修会がネットワーク形成の場としても機能していると感じています。

今後のニーズとして、酷暑対策や指導者不足といった現場の切実な課題に対し、理論だけでなく環境改善や組織運営に関する情報についても次年度以降重要なテーマとして検討していきたいと考えます。

令和8年度、全県研修会は令和8年7月26日、仙台大学准教授 松井陽子氏『プレーヤーズセンタードなコーチング』「やる気を引き出すコーチング実践」と合田法律事務所 合田雄治郎氏『スポーツ指導における法律問題について』の講演を提供したいと考えております。

他3回の各地区研修会は、①9月6日、水戸地区研修会 ②11月8日、県南地区研修会 ③令和9年2月7日、県北地区研修会を予定しております。他競技の指導者と交流できる貴重な機会の研修会です。たくさんの方にご参加いただき横のつながりの重要性、ネットワークの形成の場として広げていきたいと思います。



「広報委員会」



広報委員長

米川 優

茨城県スポーツ指導者協議会では指導者協議会活動の情報誌（会報）を9月と3月の年2回発行しています。

県内各支部の活動状況や各地区で開催される指導者研修会の案内や研修会での講演内容などを掲載しています。

情報誌ですが、今回で92号となります。

これまで、原稿寄稿などご協力いただきました関係者・会員の皆様に感謝申し上げます。

昨年度より、情報誌もカラー版になり見易くなりました。また、茨城県スポーツ協会のホームページにもWeb版として過去の者から掲載されています。是非、ご覧いただければと思います。昨今は、ホームページやSNSなどが主流となり情報の収集や発信の方法も大きく変わってきています。

それに伴い指導者の指導のあり方も変わりつつあるように思います。Webを使つての会議、研修会など対面でのコミュニケーションが少なくなつて来ています。

広報委員会としても会員の皆様にとってタイムリーな情報発信をこれからは

心がけた仕組みづくりを考えていかなければならないと感じています。

今後は広報委員会としても、年2回の情報誌発行に加え、会員の皆様の指導者としてお役に立てる情報提供をタイムリーに提供できるよう努力してまいります。

今後も広報委員会より原稿・情報提供依頼がありましたらご協力よろしくお願いいたします。

また広報委員会としましては、皆様からの情報提供をお待ちしております。

これからも100号に向けて情報誌（会報）の発行を続けていきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願ひ申し上げます。

支部だより

水戸支部

事務局長

加藤木すえ子

水戸支部令和7年度事業報告と令和8年度活動予定をお知らせいたします。

令和7年度事業報告

水戸支部総会を4月19日上中妻市民センターにて開催。

水戸支部救急救命講習会を8月24日上中妻市民センターで開催。

水戸支部便り第1号を作成し、10月4日水戸支部会員258名に発送。

水戸支部定例役員会を4月19日、

7月5日、11月15日に上中妻市民センターで実施。
その他各役員会を随時実施。

令和8年度活動予定

水戸支部総会を4月18日上中妻市民センターで開催予定。

水戸地区研修会を9月6日JAGグループ茨城県教育センターで開催予定。

水戸支部便りを年2回、県会報に合わせて発行予定。

水戸支部定例役員会を4月19日、7月4日、11月14日に、上中妻市民センターで実施予定。

その他各委員会を随時実施予定。以上報告をいたします。

令和7年度救急救命研修会では水戸地区救急普及協会のご指導のもと参加者15名で一次救命処置、声掛け、119番通報、胸部圧迫と、人工呼



救命講習会

吸、AED使用などを講義と実技で学習しました。参加者の「傷病者に出血がある場合はどう対処したらよいか」という質問に「出血があるときは、患部を押さえる人と胸部圧迫する人の2人以上で対応してください」と講師から回答をもらうなど、質疑応答で盛り上がり最後に終了証を授与されました。参加者の皆様暑い中お疲れ様でした。

令和8年9月6日には隔年開催の水戸地区研修会が予定されておりま

す。たくさんの方の皆様の受講をお待ちしております。

令和8年度の会員皆様のご活躍をお祈りいたします。

県北支部

事務局長

綿引

健

令和7年度事業報告及び

令和8年度事業計画（案）

令和7年度支部事業報告

(1) 県北支部総会

・ 令和7年5月31日（土）

・ 於：日立女性センター

報告・審議事項は全て承認された。多くの会員に総会に参加して欲しいとの付帯意見があり。

(2) 県北支部実技研修会

「背骨コンディショニング」

・ 令和7年11月8日（土）

・ 於：日立女性センター

・ 講師「村田孝二」先生

背骨の歪みを直すことで、パ

フォーマンズの向上も期待できると好評であった。



県北支部役員



支部研修会

(3)支部広報誌発行

①あみーご66号 (3月)

②あみーご67号 (9月)

(4)助勢事業

①日立さくらロードレース

・令和7年4月6日(日)

・於：市内浜の宮ロードパーク

・浜の宮給水所での給水業務

・通過予定者：6500余人



②ひたちシーサイドマラソン

・令和7年11月16日(日)

・市内公認フルマラソンコース

・浜の宮給水所での給水・給食業務

・通過予定者：4200余人

③日立アルプスOCEANトレイル

・令和7年11月16日(日)

・於：御岩山ひたちアルプスハイキングコース

・向陽台給水所での給水・給食

・通過予定者：4200余人

・山間のみを42km走る為

・ランナーはある程度助け合い、

和気藹々の感もあるレース風景

であった。



令和8年度支部事業計画(案)

(1)県北支部総会

・5月23日(土) 予定

(2)定例役員会

・(1回/月予定)

(3)各委員会活動

・総務・研修・広報委員会運営

(4)支部広報誌発行

・あみーご68号 (3月)

・あみーご69号 (9月)

(5)県北地区研修会開催

・令和9年2月7日(日)

(6)近隣市への協力

県北支部は県北スポーツ指導者協議会として発足以来、令和8年度は

40周年の節目を迎えます。今年度も新たな役員を迎え、支部会員の利益にかなうべく試行錯誤しながら活動してまいりました。今後とも支部会員皆様のご意見・ご要望を伺いながら、支部独自の活動も推進しつつ、協議会本部のご指導を仰ぎながら支部運営を進めてまいりますので、支部活動に対するご支援・ご協力を宜しくお願い致します。

県南支部

支部長

渡辺 吉光

県南支部のみならず茨城県の指導者の皆様におかれましてはご健勝のうえ、研鑽、ご指導にご活躍の事とお慶び申し上げます。

今年度は隔年の県南地区研修会が無かったため、役員会の際に「救急救命(AED)」または「テーピング」

の講習会を実施しようとの案も出ましたが、県南支部の会員の皆様にごんな研修会・講習会をして欲しいか、アンケートを作成して希望を募り決めることになりました。

アンケートは役員の方に作成していただき、県の会報91号と県南便りを郵送しました。

令和8年度は、県南地区研修会を開催予定しています。

期日 11月8日(日)

会場 稲敷郡阿見町本郷ふれあいセンター

余談ですが、令和8年4月より阿見町が市政になると聞いています。

来年度早々にはハガキにて案内が

あると思いますが、ハガキの届かなかった方でも参加できますので、インターネット「茨城県スポーツ協会」茨城県スポーツ指導者協議会「研修会」にて申し込んでいただければ幸いに存じます。

これからは県南支部、人手不足を解消しつつ役員全員一丸となり、研修の資質向上を図り、充実した県南地区研修会となりますように努力してまいります。

中央支部

事務局長

武石 良男

中央支部令和7年度の活動報告をさせていただきます。活動内容は左記のようになります。

(一)中央支部総会

開催日 4月27日(日)

場所 ひたちなか市・一中コミュニティセンター

(二)中央支部講習会開催

開催日 7月27日(日)

場所 水戸市茨城県立青少年会館

講習会は救命救急講習会として開催致しました。参加者は少人数でしたが、水戸地区救急普及協会より講師を招き、大変中身が濃く真剣に講習会に取り組む事が出来ました。

私自身、実際に心肺停止状態の対応を行いました。職場であった為、心肺蘇生、AED対応、消防連絡へと分担し迅速に対応できました。

1人であった場合でも、今回の救命救急講習会で指導いただきました

ガイドラインにより対応できたと思
います。ガイドラインは、3年に1
度更新されます。万が一の対応が出
来るよう来年度も講習会の企画を予
定しておりますので会員の皆様のご
参加お待ちしております。

(三)中央地区研修会

開催日 9月7日(日)

場所 ひたちなか市・ワークプ
ラザ勝田

講師 荒井 正道氏

(未来に役立つスポーツ
選手のマインドセット)

県西支部

総務委員

金子元則

令和七年度茨城県スポーツ指導者
協議会県西地区研修会が昨年十一月
九日(日)に下妻市千代川公民館で
開催されました。百二十名余りの参
加者があり、スポーツコーチング協
会の新井正道先生、河西浩志先生の
ご講演を拝聴し、盛会のうちに義務
研修を修了することができました。

県西支部では支部活動を活発にす
ることの重要性を鑑み、かねてから
「ラジオ体操」を取り入れることを
検討してまいりました。生活形態の
多様化が進む昨今、「いつでも・ど
こでも・だれでも」手軽にできるラ
ジオ体操が再認識されています。ラ
ジオ体操は2028年に百周年を迎
えます。夏休みの朝、カードを首に
かけ、地域のラジオ体操会に参加し
たことを懐かしく思い起こす方もい

らつしやるでしょう。日本の文化と
言われる処にもそこにあるのかと思
います。全国ラジオ体操関係団体で
は百周年を迎えるにあたり、様々な
取り組みをしております。その一つ
に指導者の立場の方を対象にした
「ラジオ体操指導者講習会」があり
ます。一般財団法人簡易保険加入者
協会がテレビ・ラジオで活躍中の講
師を無料で派遣していただきます。
講習会に参加することで、全国ラジ
オ体操連盟公認指導員の資格を得る
ことができます。何気なく行ってい
るラジオ体操を体の仕組みをもとに
もとに考案された正しい動きに変え
ることが指導するうえでの自信にも
つながります。

研修会当日、昼食前に「ラジオ体
操第一」を実施いたしました。多く
の方が参加して下さいました。三分
十五秒、十三通りの動き一つ一つに
目的があります。

会員の皆様が各自の健康管理、ス
キルアップ、地域コミュニティの構
築等今後も活躍するために「効果の
あるラジオ体操・指導者認定講習
会」を実務研修会として令和八年度
に開講の予定です。多くの方が参加
していただきますようお願いいたし
ます。

鹿行支部

支部長

君和田治也

令和七年度スポーツ指導者研修会
鹿行支部担当行事も無事完了致しま

した。開催におきましては鹿行地区
の行政各位のご協力をいただき研修
の準備から運営・片付けまでスムー
ズに終えたことに厚く御礼を申し上
げます。

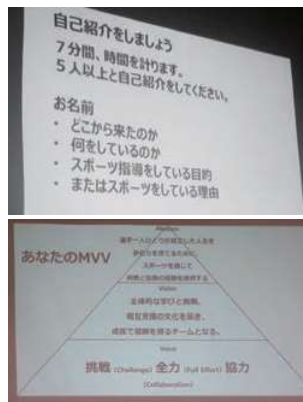
鹿行支部は20年以上前から各市の
スポーツ指導者に加え、行政のス
ポーツ担当者の方に参加していただ
き地域のスポーツ振興の情報等を共
有したりして、鹿行地区の行事を共
に行い、盛り上げていただいています。

スポーツ指導者だけではなかなか
進まないことを行政に手伝って頂く
ことは鹿行支部として非常に助かつ
ており、今後も良い関係を続けてい
きたいと思っています。

また、スポーツ指導者協議会を運
営する委員の若返りを進めるよう努
力をしているところですが、快く委
員になっていただける方が少ないの
が現状です。

個人情報を知ることができない状
況の中で、新たな委員になって頂く
方を探すことも難しい状況になって

います。この様な時、各行政のスポー
ツ振興担当者からの推薦者等の情報
を得て、新委員になっていただく方
に連絡を取っていきたくと考えてい
ます。



運営予算も少ない中、スポーツ指
導者協議会へのスポンサー探しや郵
便・通信費削減など、いろいろ改善
をしながら活動を続け、今後も競技
種目の違う指導者同士が交流できる
貴重な機会を多く計画していきたい
と考えています。たくさんの方に
ご参加いただき、みなさんで鹿行支部
を支え盛り上げて行きましょう。



本協議会事務局便り

令和8年度茨城県スポーツ指導者研修会開催予定

令和8年度研修会（全県・地区）に参加申込み方法は、令和24年度から（公財）日本スポーツ協会 HP「指導者マイページ」を使って、会場毎に参加申込みであり、参加料は参加申込みと同時に郵便局の払込取扱票に口座番号及び加入者名を記入して、振込みする事になりました。

(1)全県研修会

日時 令和8年7月26日（日）
会場 水戸市・茨城大学水戸キャンパス
定員 200名

(2)水戸地区研修会

日時 令和8年9月6日（日）
会場 水戸市・J Aグループ茨城教育センター
定員 96名

(3)県南地区研修会

日時 令和8年11月8日（日）
会場 阿見町・本郷ふれあいセンター
定員 200名

(4)県北地区研修会

日時 令和9年2月7日（日）予定
会場 日立市・未定
定員 100名

支部別公認スポーツ指導者人数（令和8年2月15日現在） 但し、サッカー及びバスケットボールは含まない

市町村	有資格	会員	市町村	有資格	会員
(1)県北支部 4 市					
常陸太田市	100名	41名			
日立市	467名	186名			
高萩市	60名	20名			
北茨城市	54名	21名	合計	681名	268名
(2)水戸支部 1 市					
水戸市	776名	268名	合計	776名	268名
(3)中央支部 11 市町村					
ひたちなか市	429名	156名	大洗町	23名	5名
笠間市	157名	67名	城里町	37名	17名
那珂市	128名	59名	大子町	38名	13名
小美玉市	135名	66名	東海村	171名	65名
常陸大宮市	89名	40名	水戸市	1名	1名
茨城町	52名	28名	合計	1260名	517名
(4)鹿行支部 5 市					
行方市	92名	35名	潮来市	50名	21名
鹿嶋市	156名	72名	鉾田市	109名	50名
神栖市	193名	86名	合計	600名	264名
(5)県南支部 14 市町村					
つくば市	847名	241名	龍ヶ崎市	137名	45名
つくばみらい市	144名	42名	かすみがうら市	89名	30名
牛久市	190名	58名	稲敷市	85名	42名
取手市	283名	95名	阿見町	135名	41名
守谷市	222名	63名	利根町	28名	11名
石岡市	209名	80名	河内町	16名	5名
土浦市	349名	120名	美浦村	27名	11名
			合計	2761名	884名
(6)県西支部 10 市町					
古河市	235名	75名	筑西市	199名	102名
下妻市	90名	39名	結城市	103名	48名
坂東市	88名	37名	八千代町	50名	20名
常総市	134名	48名	境町	43名	15名
桜川市	102名	56名	五霞町	4名	1名
			合計	1048名	441名
			総合計	7126名	2642名

《書き方例》

郵便局払込取扱票用紙



皆様のご意見、ご投稿を お待ちしております！



【広報に関する連絡先】

〒319-1417
茨城県日立市かみあい町 2-20-7
TEL 080-8711-6604
メール kamiai_yone@yahoo.co.jp

茨城県スポーツ指導者協議会
広報委員長 米川 優

編集後記

第92号会報発行に当たり皆様へ原稿執筆を賜り心から感謝申し上げます。
ご愛読いただける会報となるよう努力してまいりますので、皆様の忌憚のないご意見をお寄せ頂きたいと思っております。
今回の会報93号発行は令和8年9月15日（予定）

広報委員会

- 広報委員長 米川 優（県北支部）
- 広報副委員長 加藤 木すえ子（水戸支部）
- 広報担当副会長 渡辺 吉光（理事会・県南支部）
- 広報委員
- 高松 倅子（県北支部）
- 岡野 秀一（水戸支部）
- 榊井 幸子（水戸支部）
- 黒沢 勝秀（中央支部）
- 武石 良男（中央支部）
- 君和田 治也（鹿行支部）
- 高野 照代（鹿行支部）
- 小林 誠（県南支部）
- 藤田 道子（県南支部）
- 野村 正巳（県西支部）
- 佐藤 加代子（県西支部）